

SOUND CREATURES

ARTLAB 8

アートラボ第8回企画展

サウンド・クリーチャーズ * アーティスト: 江渡浩一郎

「サウンド・クリーチャーズ」は、インターネットとインスタレーション空間をリアルタイムにリンクさせて成立する作品で、ある民族の集団で創り出す歌は、中心がなくだれかが歌い初め、次に加わる人がその人に合わせるという形で大きくなっていき、加わることもできるし抜けることもできる——現代の情報ネットワークを使って、このようなサウンドコミュニケーション空間を作ることは可能だろうか。

ネット上のWebページから、様々なサウンドパターンを視覚的造型パターンとして入力して作り出すことができ、それをネットワークでリンクされた実際の会場インスタレーションのサウンドロボットに接続します。会場では、スピーカーを搭載したロボットが実際に動き回りながらライヴ・パフォーマンスを行います。

会期: 1998年10月17日(土) → 11月1日(日)

(会期中無休)

開場時間: 11:00 → 20:00 入場無料

会場: ヒルサイドプラザ

(東京都渋谷区猿楽町29-10 / 東急東横線・代官山駅下車 徒歩3分)

主催: キヤノン株式会社 アートラボ

協力: 財団法人国際メディア研究財団

ヒルサイドプラザ

協賛: ファストネット株式会社

Sound Composition: 山口優 Visual Direction: 東泉一郎

お問い合わせ

キヤノン株式会社 アートラボ事務局 TEL: 03-5410-3611 FAX: 03-5410-3615

(〒160-0032 東京都港区六本木7-18-23DKビル5F)

本展は、江渡浩一郎とアートラボとの共同製作によるもので、インターネットとヒルサイドプラザのインスタレーションをリアルタイムにリンクして構成されるネットワーク作品です。インターネット、会場どちらからもアクセスできます。

<http://www.canon.co.jp/cast/>

江渡浩一郎 (えと こういちろう)

1971年生まれ、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科卒業。

藤嶋正樹ラボでコンピュータ・アートの研究を行う。

93年、任天堂「ジョイメカファイト」にプログラマーとして参加。

ネットワークを用いた活動歴は長く、

インターネットを利用した活動や作品制作を

いちはやく手がける。

代表作に「RealPanopticon」1995、

「WebHopper」1996 (ネットプロジェクト「sensorium」)。

「RemotePiano」1996～

(坂本龍一・岩井俊雄「MPIXIPM」の中でのパフォーマンス)

などがある。



Web上のサウンドパターンを視覚的造型パターンとして入力して作り出すことができ、それをネットワークでリンクされた実際の会場インスタレーションのサウンドロボットに接続します。会場では、スピーカーを搭載したロボットが実際に動き回りながらライヴ・パフォーマンスを行います。

アートラボは、キヤノン株式会社の社会文化支援活動の一環として、アーティストとコンピュータエンジニアのコラボレーションによるメディアアートの制作を推進しています。

ARTLAB, the art-support project by Canon Inc., aims at the integration of art and technology via the production process of media-artwork through collaboration between artists and computer engineers.

キヤノン株式会社 アートラボ

ARTLAB, Canon Inc.
5F DK Bldg. 7-18-23 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-0032
Tel: 03-5410-3611 Fax: 03-5410-3615
e-mail: artlab@cast.canon.co.jp